倉敷市立第五福田小学校　学校だより

五福っ子

令和7年12月4日発行　No.17

出前講座で　学びに体験・体感を

　秋が深まるのと同じように、子どもたちの学びもどんどん深まっているのを感じる11月でした。

　普段は教室で席に座って、先生や友達と学習していますが、11月には、外部から講師の方をお招きしたり、校外へ出かけて見学をしたりして、学習を深めている学年がありました。

　11月10日（月）には、5年生が、箏と尺八の演奏体験を行いました。

　まず、お二人の先生による「春の海」の演奏を鑑賞しました。音楽室での演奏会でしたので、子どもたちは間近で演奏を聴くことができました。演奏者の方の息づかいを感じることができる、臨場感あふれる演奏に、5年生の子どもたちは惹きこまれていました。

　次に、箏と尺八に分かれ、楽器の演奏を体験しました。どの子も先生の説明をよく聞いて、真剣に取り組みました。

　11月17日（月）には、4年社会科「酪農」の学習で、真庭市より子牛がやってきました。

　子牛は6月に生まれたばかりとのこと。そのかわいらしさに、子どもたちはとりこになっていました。子牛のなで方を教わったり、聴診器で心臓の音を聴いたりしました。自分の心音と比べて、打つ速さの違いに気づいた子もいました。

　ほかにも、「お母さん牛」（本物ではありません）で搾乳体験をしたり、ジャージー牛のミルクからつくられたヨーグルトを試食したりと、五感をしっかりと使った、貴重な体験をすることができました。

学習後には、「酪農家になりたい」と、夢をもった子もいました。